

Title	表紙・投稿規定・プレプリント・編集後記・裏表紙ほか
Author(s)	
Citation	物性研究 (1975), 24(4): 183-188
Issue Date	1975-07-20
URL	<a href="http://hdl.handle.net/2433/89021">http://hdl.handle.net/2433/89021</a>
Right	
Type	Others
Textversion	publisher

昭和42年11月14日 第四種郵便物認可  
昭和50年7月20日発行(毎月1回20日発行)  
物 性 研 究 第24巻 第4号

vol. 24 no. 4

# 物性研究

1975/7



1. 本誌は、物性物理の研究を共同で促進するため、研究者がその研究意見を自由に発表し討論しあい、また、研究に関連した情報を速やかに交換しあうことを目的として、毎月1回編集・刊行されます。掲載内容は、研究論文、研究会・国際会議などの報告、講義ノート、研究に関連した諸問題についての意見、オフプリント案内、エッセイなどです。
2. 本誌に掲載される論文については、原則として審査は行ないませんが、但し、編集者が本誌に掲載することを著しく不適当と認めたものについては、改訂を求め、また掲載を拒絶することもあります。
3. 本誌の掲載論文を他の学術雑誌に引用するときは、著者の承諾を得た上でprivate communication扱いにして下さい。

### 投稿規定

1. 雑誌のページ数を節約するために原稿は極力簡潔にお書き下さい。原稿は4,000字詰原稿用紙を使用し、原則として30枚以内とします。30枚を大幅に越える場合は、内容の概略、予定の頁数を添えて編集部にご申し附下さい。
2. 数式、記号の書き方はProgress Journalの投稿規定に準じ、ミスマプリントが生じないように適当な処置をとって下さい。止リキ、下リキは特に紛わしいもののみを指定して下さい。英字の大文字、花文字、ギリシャの指定を忘れないように、oと0(ゼロ)、uとnとr、pとe、l(エル)と1(イチ)、xと×(カケル)、mとv等が一番間違ひやすい。
3. 数式は3行にわたって大きく書いて下さい。
4. 1行以内におさまらない可能性のある長い数式等は必ず改行の際の切れ目を赤で指定して下さい。
5. 図の縮尺、拡大は致しません。1頁以内に入らない図(13cm×19cm)は原則として著者に返送し、書き改めていただく。6. 投稿後の原稿の訂正はできるだけ早くするようにして下さい。
7. 別刷は原則として作りません。どうしても別刷が有用な場合は、投稿の際に所要部数を50部単位で申し込んで下さい。別刷代は下記方式により、現金で納入していただきます。

(郵券による受付はいたしません。)

$$\begin{aligned} p &: \text{物研出来上り頁数} \\ x &: \text{別刷所要部数} \\ a &: \text{別刷1頁の代金} & 34円 \\ b &: \text{製本代(別刷1部につき)} & 30円 \\ \text{別刷代} &= (ap + b) \times \text{半送料} \end{aligned}$$

別刷代金は別刷を受とってから、1ヶ月以内に納めて下さい。それより遅れた場合には遅滞追徴金を請求されることがありますから、御注意下さい。

8. 原稿締切日は毎月20日で原則として次月発行誌に掲載されます。



1. 本誌は、物性物理の研究を共同で促進するため、研究者がその研究意見を自由に発表し討論しあい、また、研究に関連した情報を速やかに交換しあうことを目的として、毎月1回編集・刊行されます。掲載内容は、研究論文、研究会・国際会議などの報告、講義ノート、研究に関連した諸問題についての意見、オフプリント案内、エッセイなどです。
2. 本誌に掲載される論文については、原則として審査は行ないませんが、但し、編集者が本誌に掲載することを著しく不適当と認めたものについては、改訂を求め、また掲載を拒絶することもあります。
3. 本誌の掲載論文を他の学術雑誌に引用するときは、著者の承諾を得た上でprivate communication扱いにして下さい。

### 投稿規定

1. 雑誌のページ数を節約するために原稿は極力簡潔にお書き下さい。原稿は4,000字詰原稿用紙を使用し、原則として30枚以内とします。30枚を大幅に越える場合は、内容の概略、予定の頁数を添えて編集部にご申し附下さい。
2. 数式、記号の書き方はProgress Journalの投稿規定に準じ、ミスマプリントが生じないように適当な処置をとって下さい。止リキ、下リキは特に紛わしいもののみを指定して下さい。英字の大文字、花文字、ギリシャの指定を忘れないように、oと0(ゼロ)、uとnとv、pとe、r(エル)と1(イチ)、xと×(カケル)、mとv等が一番間違ひやすい。
3. 数式は3行にわたって大きく書いて下さい。
4. 1行以内におさまらない可能性のある長い数式等は必ず改行の際の切れ目を赤で指定して下さい。
5. 図の縮尺、拡大は致しません。1頁以内に入らない図(13cm×19cm)は原則として著者に返送し、書き改めていただく。6. 投稿後の原稿の訂正はできるだけ早くするようにして下さい。
7. 別刷は原則として作りません。どうしても別刷が有用な場合は、投稿の際に所要部数を50部単位で申し込んで下さい。別刷代は下記方式により、現金で納入していただきます。

(郵券による受付はいたしません。)

$$\begin{aligned} p &: \text{物研出来上り頁数} \\ x &: \text{別刷所要部数} \\ a &: \text{別刷1頁の代金} & 34円 \\ b &: \text{製本代(別刷1部につき)} & 30円 \\ \text{別刷代} &= (ap + b) \times \text{半送料} \end{aligned}$$

別刷代金は別刷を受とってから、1ヶ月以内に納めて下さい。それより遅れた場合には遅滞追徴金を請求されることがありますから、御注意下さい。

8. 原稿締切日は毎月20日で原則として次月発行誌に掲載されます。

---

プレプリント案内

---

《 東大・久保研 》

- (67) 13. Kunihiro YAMAJI and Jun KONDO  
Phase Transition of Nearly Two-Dimensional Heisenberg Ferromagnets with Weak Perturbations
- (68) 13. C. W. Gardiner, K. J. McNeil, and D. F. Walls  
LOCAL AND GLOBAL FLUCTUATIONS IN A SOLUBLE MODEL OF A NON-EQUILIBRIUM CHEMICALLY REACTING SYSTEM
- (69) 16. P. G. DE GENNES  
CRITICAL DIMENSIONALITY FOR A SPECIAL PERCOLATION PROBLEM
- (70) 16. M. Daoud, J. P. Cotton, B. Farnoux, G. Jannink, G. Sarma, H. Benoit, C. Duplessix, C. Picot, and P. G. Gennes  
SOLUTIONS OF FLEXIBLE POLYMERS : NEUTRON EXPERIMENTS AND INTERPRETATION
- (71) 17. Y. Nagaoka and J. Yamauchi  
Phase-Pinning Effect in DLRO and Superfluidity
- (72) 22. Hiroyuki Siba  
Effect of Spin-orbit Interaction on the Knight Shift of Normal and Superconducting Small Particles
- (73) 22. M. R. Krishnaswamy, M. G. K. Menon and V. S. Narashimhan  
N. Ito, S. Kawakami and S. Miyake  
EVIDENCE FOR THE PRODUCTION OF A NEW PARTICLE
- (74) 26. Akira Ito, Takao OHTA and Hiroyuki MASHIYAMA  
Reductive Perturbation Approach to the Fluctuation
- (75) 26. Hiroyuki MASHIYAMA, Akira ITO and Takao OHTA  
Fluctuations and Phase Transitions far from Equilibrium
- (76) 27. Kazumi Maki and Hiromichi Ebisawa

Damping of Magnetization Ringing

- (77) 27. Kazumi Maki and Hiromichi Ebisawa

Magnetization Ringing in the B Phase

- (78) 27. S. Nagamiya, K. Nagamine, O. Hashimoto and T. Yamazaki

NEGATIVE MUON SPIN ROTATION AT OXYGEN SITE IN PARAMAGNETIC MnO

- (79) 29. Satoshi TAKADA

Long-Range Orders in Ground States and Collective Modes

- (80) 30. NAOKI ITOH

ELECTRICAL CONDUCTIVITY AND EMISSIVITY OF THE PULSAR SURFACE

- (81) 30. A. GERVOIS and Y. POMEAU

ON THE ABSENCE OF DIFFUSION IN A ONE-DIMENSIONAL SYSTEM

- (82) 30. L. Sasvári, F. Schwabl and P. Szépfalusy

Hydrodynamics of an n-component Phonon System

《 京大・理・化学・山本研 》

- Werner Press and Achim Kollmar

“CH<sub>4</sub> : Tunneling States, Rotations and Phase Transition in a Quantum Molecular Crystal”

- E. P. Jones, J. A. Morrison and E. L. Richards

“More Methane Follies at Low Temperatures”

## ニュース

### 〔名古屋大学〕

#### ・S研コロキウム

“Application of Statistical Mechanics to Biology”

C. J. Thompson 氏

6月23日 S研 金 吉 敬 人 氏 “Random System”

S研・中野研合同コロキウム

### 〔東大教養〕

#### ・物性コロキウム Dancz 氏

4月15日

「アモルファス半導体の電子構造」

#### ・物性コロキウム

4月18日 東大教養・伊 藤 隆

「DNA Conformation, Genes, Cell Biophysics」

4月25日 東大計算センター・唐 木 幸 彦

「協同現象とLee-Yang定理 Ising 強磁性体における厳密な  
諸定理」

#### ・物性コロキウム

5月16日 東大物性研・豊 沢 豊

「Resonance Raman Scattering of Luminescence」

5月23日 東大物性研・斯波

「希薄合金における Koringa Relation について」

5月29日 早大理工 齊 藤 信 彦

「Induction phenomenon and ergodicity of unharmonic  
lattice vibration」

#### ・教室談話会

5月27日 東大理学部・久 保 亮 五

「巨視系における非線型非平衡過程」

〔 東大物性研 〕

・ 人事移動

山 田 耕 作 氏     静岡大工業短大へ

・ 土曜輪講

4 月 12 日     大 畠 永 生 氏     ( 青学大理工 )

「非線形非平衡統計力学の立場から見た一次元電流の減衰とゆらぎ」

4 月 19 日     上 田 和 夫 氏     ( 物性研 )

「強磁性金属の輸送係数に対するスピンの揺ぎの寄与」

4 月 26 日     塚 田 捷 氏     ( 東大理 )

「不規則性と電子相関の共存する系のグリーン関数」

・ 物性研談話会

4 月 28 日     J. M. McClure     ( オレゴン大学 )

“Theory of Diamagnetism in Metals and Alloys”

・ 物性研談話会

5 月 12 日     立 木   昌 氏     ( 東北大金研 )

「磁気相転移と超音波」

5 月 19 日     豊 沢   豊 氏     ( 物性研 )

5 月 26 日     V. S. Vavilov     ( レベデフ研究所 )

“Non-equilibrium electron processes in strongly-excited semiconductors.”

“The physics of ion implantation phase transitions”

・ 土曜輪講

5 月 17 日     潮   秀 樹 氏     ( 東大理 )

「グラファイトのサイクロトロン共鳴」

5 月 31 日     伊豆山 健 夫 氏     ( 東大教養 )

“A Hopping Model for Magnetic Coupling of Quantum Solids”



## お知らせ

### 基研短期研究会「強誘電的相転移の理論的研究」

#### 参加者公募のお知らせ

今秋チェコの Dvorak 教授が来日される機会を利用して、同教授を囲んで上記の研究会を開く予定です。下記要項を承知の上、参加希望者は申込んで下さい。

#### 記

1. 開催時期 11月上旬の3日間
2. 場 所 京大基礎研またはその周辺
3. 参加予定者 約25名
4. 主 題 強誘電的相転移の理論
5. 参加条件 新しい理論的試み、理論および実験のレビュー、理論家に興味のある新しい実験データなどを研究会で発表して頂ける人。
6. 予 算 旅費 40万円 出版費 3万5千円
7. 応募要領 発表予定の講演の英文の題目、その簡単な要約、希望講演時間を添えて下記に申込書を8月末日までに郵送して下さい。

606 京都市左京区北白川追分町

京都大学理学部物理学教室

松 原 武 生

予算に限りがありますので、参加希望者多数のときは、世話人に人選を一任して頂きます。

世話人 松原武生, 石橋善弘, 吉光浩二

## 編 集 後 記

毎日、暑い日が続きますが読者の皆様はハリキッテおられることでしょう。現在、京都編集委員は10名で（川合葉子，川崎恭治，川畑有郷，辻和彦，戸谷隆雄，富田博之，氷上忍，槇和男，町田一成，水崎隆雄），今月から，川畑氏から編集長の役を引受けることになりました。物性研究も時代の流れでスタイルが変わりつつありますが，何かアイデア，御意見がありましたら御一報下さい。来月から京大と基研のプレプリント案内も始める予定です。今月は物性のレビューの第二回目として，小林謙二氏の力作が載りましたが，レビューの案もありましたら京都編集部にお知らせ下さい。

（ S. Hi ）

## 購読規定

### 個人購読

1. 会費 当会の会費は前納制をとっています。したがって、3月末までになるだけ1年間分会費を御支払い下さい。なお新規購読の場合は下記の会費以外に入会金として1000円をお支払い下さい。

#### 1年間の会費

1st volume	2,340円
2nd volume	2,340円
	計4,680円

(1年分まとめてお支払いが困難の向きは1 volume 分ずつでも結構です。)

2. お支払いの際の注意：なるべく振替用紙を御利用の上御納入下さい。なお通信欄に送金内容を必ず明記して下さい。
3. 雑誌購読者以外の代理人が購読料を送金される場合、必ず購読者本人の名前を明記して下さい。
4. 誌代の支払遅滞の場合：当会の原則としては、正当な理由なく2 Vols. 以上の誌代を滞納された場合には、送本を停止することになっておりますので御留意下さい。
5. 一括送本を受ける場合：個人購読中に大学等で一括配布を受ける様になった場合は、必ず「個人購読中止、一括配布希望」の通知をして下さい。逆の場合も同様です。
6. 送本先変更の場合：住所、勤務先の変更等送本先が変わった場合は、必ず送本先変更届を提出して下さい。

### 学校、研究所等機関購読

1. 会費：学校、研究所等での購読及び個人であっても公費払いのときは機関会員とみなし、代金は、1 Vol. 4,380円、1冊730円です。この場合、入会金は不要です。学校、研究所の会費の支払いは後払いでも結構です。しかし購読申込みをされる時に支払いに必要な請求見積、納品書各何通必要なのかをお知らせ下さい。なお、当会の請求書類では支払いができない様でしたら、貴校、貴研究機関の請求書類を送付して下さい。
2. 送本中止の場合の連絡：発行途上にある volume の購読途中中止は認められません。購読中止される場合には、1ヶ月前くらいに中止時期を明記して「購読中止届」を送付して下さい。



物 性 研 究 24—4 (7月号) 目 次

◎Theory of Fluctuation in the One-Dimensional Electron-Phonon System .....	北村豊幸・塚本英三	139
◎乱雑な表面原子分佈をした電子状態 .....	石田郁夫・堀上典夫	149
◎講演ノート「生物系への統計物理学の2、3の応用」 .....	C. P. Thompson	167
◎ブレイブリッド案内 .....		183
◎ニュース .....		185
◎編集後記 .....		188
◎モレキュール型「非線型定常状態における輸送」報告 .....		C1
◎Review「液晶における種々の不安定性」 .....	小林謙二	C3



物 性 研 究 24—4 (7月号) 目 次

◎Theory of Fluctuation in the One-Dimensional Electron-Phonon System .....	北村豊幸・塚本英三	139
◎乱雑な表面原子分佈をした電子状態 .....	石田郁彦・堀上典夫	149
◎講演ノート「生物系への統計物理学の2、3の応用」 .....	C. P. Thompson	167
◎ブレイブリット案内 .....		183
◎ニュース .....		185
◎編集後記 .....		188
◎モレキュール型「非線型定常状態における輸送」報告 .....		C1
◎Review「液晶における種々の不安定性」 .....	小林謙二	C3